

## 山口県防犯設備士協会の活動について



山口県防犯設備士協会 理事 山口 博司

### 1. 経緯、現況

当協会は平成8年、山口県内の防犯設備士12名で「山口県防犯設備士地域安全協議会」として発足したのが始まりです。防犯設備士の人数も順調に増えて、地域の防犯活動や安全運動など、関係機関と協力しながら活動を進めてまいりました。

平成18年には、時代のニーズに合わせ、組織の再編成を計り名称も新たに「山口県防犯設備士協会」に改め、以前にも増して積極的な活動をしながら現在に至っております。

本会は、以下の4種類の会員から構成されております。

正会員	県内有資格者で、賛同入会した防犯設備士、総合防犯設備士
準会員	賛同入会した個人、また防犯設備士資格を目指す者
賛助会員	会の事業に賛助するために入会した法人、団体
特別会員	本会の目的達成のための相互連携関係団体、法人又は団体

シンボルマークとして「山口」の文字に特産の夏みかんが地域安全を見張るというイメージを採用し、会員ジャンパーのマークや協会パンフレットに使用しております。



当協会には会則として次のような目的があります。

(1)会員が会員相互間及び警察等関係機関・団体との連携を密にして、優良防犯設備機器の設置、維持管理及び普及促進に関する広報啓発に努める。

(2)各種地域安全活動に積極的に協力して地域住民の自主防犯意識の高揚を図り、犯罪、事故、災害を未然に防止するなど安全で住みよい地域社会作りを目的とする。

以上の目的を達成するため、毎年開催される総会においてその年度の事業計画の立案、検討がなされ、様々な取り組みに挑戦しております。

例として、今年の8月に開催された平成25年度総会では、ご来賓として山口県警察本部や山口県環境生活部からご出席を賜り、1年間の事業報告において次のような活動報告がありました。

(1)山口県防犯設備士協会連絡所の設置

県内各所の賛同会員会社（18社）に連絡所の看板を設置しました。

(2)防犯優良集合住宅認定のための研修会開催

宇部市の既設集合住宅にて防犯設備設置状況や問題点を検証しました。

(3)防犯カメラ施工講習会の開催

講師に(株)プロテック様をお招きして防犯カメラ機器設置等の勉強をしました。

(4)下松市防犯講習会への講師派遣

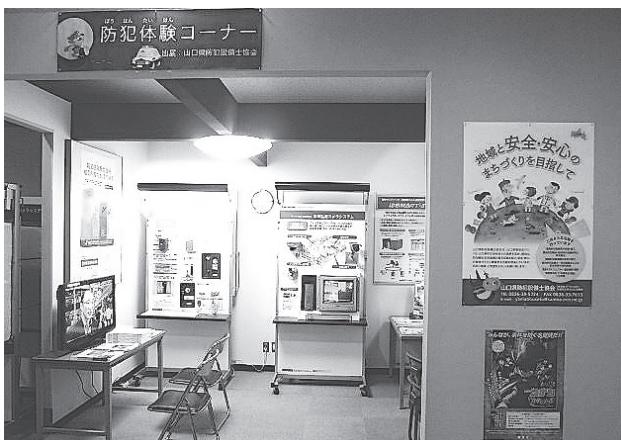
(5)須々万地区自治会連合会防犯講習への講師派遣

(6)「犯罪のないまちづくり県民大会」に展示参加

(7)防府市青少年科学館ソラールで開催された山口県警察協賛の「科学捜査展」に協会展示ブースを設置して賛助会員様のご協力で防犯カメラ、最新インターホン、防犯錠などの防犯機器の紹介をしました。開催期間は1ヶ月半に及びました。



(8)宇都市にある山口県警察「生活安全ふれあい館」の中に「山口県防犯設備士協会」の常設展示場を開設しました。賛助会員のご協力を頂き、最新インターホン、防犯カメラ機器、防犯建物錠などの展示紹介。ここには県内各地の人や、各学校からの団体見学者が訪れています。



この展示場開設により、7月に山口県警察本部長から当協会に対して感謝状が授与されました。



(9)防犯設備士認定試験の山口県での開催に協力させていただきました。

又、2日間に渡る認定試験講習会にも積極的にお手伝いをしました。



(10)山口ライオンズクラブ 防犯優良住宅講習会への講師派遣。

以上が1年間の主な活動実績です。

## 2. 今後の取り組み

### (1)防犯優良集合住宅推奨制度の確立

マンション等の大規模集合住宅とは別に、当協会独自の取り組みとして低層階の集合住宅に対する防犯性能向上をめざして、防犯優良集合住宅の認定制度を準備しております。

都会から離れた地方都市の山口県では、アパートなどの低層階集合住宅が多くあります。これら地域特有の住宅事情に合わせた防犯対策に取り組んでいるところです。

効率よく防犯機器を利用・設置・運用して、犯罪防止の4原則「光・目・音・時間」を守ることを広く普及公布し、地域住民の安全安心なまちづくりに協力したいと考えております。

### (2)法人化への移行

今までの様々な活動の中で、さらに次の目標に向かおうとするとき、任意団体としての活動にも限界を感じることが多くなってきました。

各方面からのご指導、ご要望もあり、当協会は法人化へ移行することになりました。「一般社団法人山口県防犯設備士協会」として新たな法人組織団体となり、皆様方からの更なるご要望に応えられるよう、又より信頼していただけるように頑張って参りたいと考えております。

今後とも日本防犯設備協会、山口県警察本部、山口県等関係諸団体皆様の一層のご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。